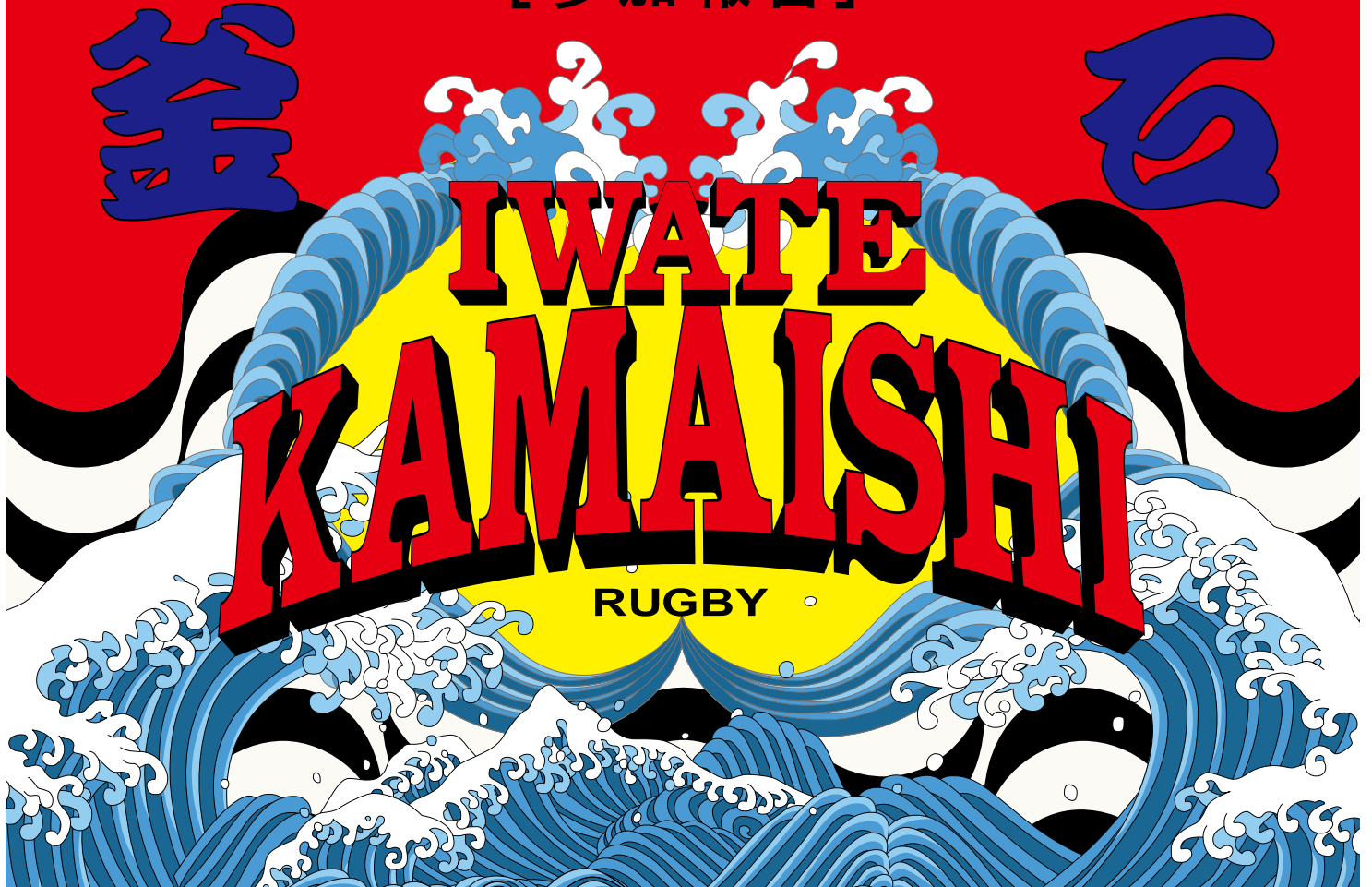


第1回

# ワールド アマチュアラグビー フェスティバル

MONDIAL RUGBY AMATEUR 2023

[参加報告]



**MONDIAL**  
RUGBY AMATEUR  
2023 - FRANCE

ご 声 援  
あ り が と う  
ご ざ い ま し た



# ラグビー国際交流推進事業実行委員会

## 設立趣意

ラグビーワールドカップ2019™日本大会で、東日本大震災津波の被災地で唯一の開催都市となった岩手・釜石から、これまでにいただいた復興支援に対する感謝と、力強い復興の姿を世界中に発信することができました。

岩手県・釜石市では、ワールドカップで高まったラグビーの人気や魅力、価値を弾みとし、大会開催で生まれた世界との新たな絆や、取組の経験等の多様なレガシーを次世代に継承していくことが重要だと考えています。

2023年9月にフランスで開催となった「ラグビーワールドカップ2023」は、51日間にわたり熱戦が繰り広げられ、日本代表チームも活躍を見せました。同時期にフランス南部のプロヴァンス地方の都市で開催された「第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル」に釜石市の

姉妹都市であるディーニュ・レ・バン市から参加要請を受けました。

この機会を絶好の機会として捉え、①東日本大震災の復興支援に対する感謝を世界に向けて発信するとともに、②2019年の日本大会及び岩手・釜石開催で生まれた世界との新たな絆や多様なレガシーの継承、さらには、③スポーツ・ラグビーを通じた岩手県民、釜石市民の国際交流による感動と可能性を「ラグビー県いわて」及び「ラグビーのまち釜石」の今後のまちづくりに活かすため、岩手県及び釜石市をはじめとして関係機関・団体と連携・協力のもと「ラグビー国際交流推進事業実行委員会」を設立、岩手県や釜石市にゆかりのあるメンバーを募り、「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」を結成しました。

## 本事業の目的・成果

# 1 東日本大震災の復興支援に対する感謝の発信

### ① 大漁旗

ディーニュ・レ・バン市及び、第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル大会実行委員会に、それぞれ相手のロゴや名入りの大漁旗を寄贈。また、チームフラッグとして試合中に掲示しました。



### ③ 復興支援の感謝のメッセージチラシ

英語、フランス語に翻訳した復興支援の感謝のメッセージを記したチラシ1,000枚を、大会参加全チーム及び大会実行委員会が開設したプレスセンターで配布しました。



### ② ペナント

対戦チーム及び大会参加チーム、関係機関等(サン・マクシマン・ラ・サント・ボーム市及びラグビー協会、在マルセイユ日本国総領事館等)に寄贈しました。



### ④ 復興支援感謝のメッセージフラッグ

いわて釜石ラグビーフットボールクラブの試合中や大会オフィシャルセレモニーで、復興支援に対する感謝のメッセージフラッグを掲示しました。



# 2 ラグビーワールドカップ2019™日本大会 岩手・釜石開催のレガシーの継承

## ① 大会実行委員長のあいさつ

第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルの大会オフィシャルセレモニーにて、ジェレミー・テシエ大会実行委員長の挨拶の中で、「姉妹都市である釜石市は被災をした小さい町でありながらも、立ち上がりラグビーワールドカップを開催することができた。このストーリーが我々の原動力となり、この大会を開催するきっかけとなった。私自身、釜石市とそこに住まう人々に大変感嘆している」旨の発言があり、2019年の岩手・釜石開催のレガシーが世界に受け継がれていることを確認できました。



第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルの大会オフィシャルセレモニーにて、ジェレミー・テシエ大会実行委員長の挨拶の中で、「姉妹都市である釜石市は被災をした小さい町でありながらも、立ち上がりラグビーワールドカップを開催することができた。このストーリーが我々の原動力となり、この大会を開催するきっかけとなった。私自身、釜石市とそこに住まう人々に大変感嘆している」旨の発言があり、2019年の岩手・釜石開催のレガシーが世界に受け継がれていることを確認できました。

## ② クラブチームジャージについて

いわて釜石ラグビーフットボールクラブのチームジャージは、RWC2019岩手・釜石開催時に注目されたKAMAISHI大漁旗Tシャツのデザインをモチーフとして、同大会のレガシーの承継と新たなラグビーを通じた国際交流のきっかけとなることをねらい制作されたものです。大会参加時には関心を集め、他国の参加チーム選手からユニフォームの交換を求められたり、大勢の地元民から入手方法を質問される等、新たな国際交流のきっかけづくりに資するものとなりました。



# 3 スポーツ・ラグビーを通じた国際交流による感動と可能性を 「ラグビー県いわて」「ラグビーのまち釜石」の 今後のまちづくりに活かす

第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルの参加を通して、大会参加チームや関係機関等との交流が生まれ、大会参加各国や関係機関等と新たなつながりを得ることができました。この機を活かし、新たに生まれたつながりをさらに深めるとともに、各国や関係機関等の交流を促進させることで、「ラグビー県いわて」及び「ラグビーのまち釜石」の今後のまちづくりに取り組んでいきます。



## 10月28日 いわて釜石ラグビーフットボールクラブと派遣中学生のフランス派遣に係る報告会

市民や関係者等の多くの方の参加のもと、いわて釜石ラグビーフットボールクラブの「第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル」参加と、市内中学生の姉妹都市ディーニュ・レ・バン市等への派遣結果について、各派遣団より報告が行われました。

報告会に参加した選手からは、大会参加について下記の報告がありました。

- 「日本代表選手としてフィールドの上で君が代を聞いた瞬間、涙があふれそうになった」
- 「町中が歓迎ムードで毎試合スタンドから『JAPON！（日本！）』コールが巻き起こり、まるでホームで試合をしているようだった」

いわて釜石ラグビーフットボールクラブの活動として成果を得ただけでなく、選手一人一人にも心に残る派遣であったことが報告されました。

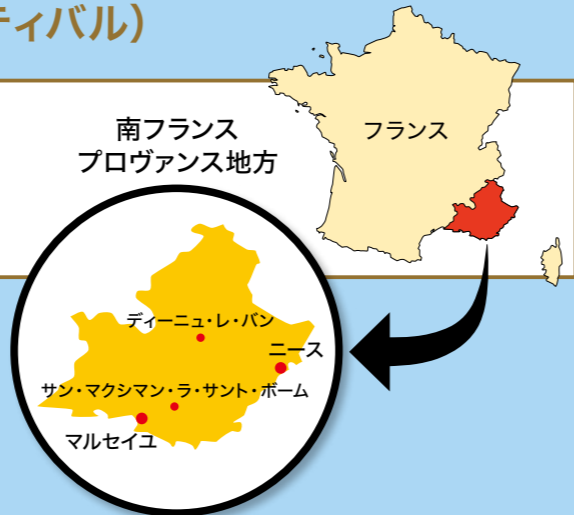
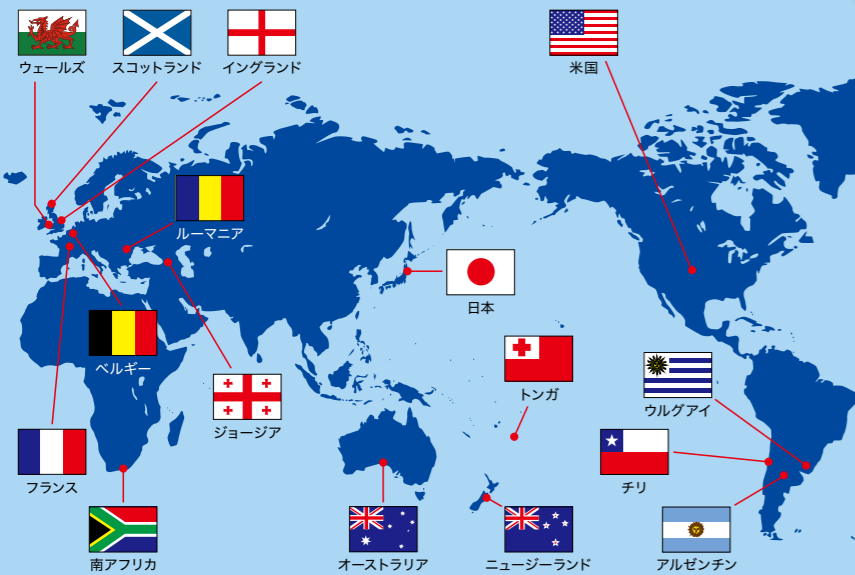


# MONDIAL RUGBY AMATEUR とは？

(第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル)



ラグビーワールドカップ2023開催期間中にフランスのプロヴァンス地方で開催されたアマチュアラグビーの国際大会。ディーニュ・レ・パンなどの7都市で開催され、日本をはじめ16カ国・地域、16チームが参加。日本からは、岩手県と釜石市が「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」として選手を派遣した。



<b>POOL A</b> ニュージーランド フランス ベルギー ウルグアイ	<b>POOL B</b> 南アフリカ スコットランド トンガ ルーマニア
<b>POOL C</b> ウェールズ オーストラリア ジョージア 米国	<b>POOL D</b> イングランド 日本 アルゼンチン チリ

## 出発式

選手たちが旅立つ9月20日夕方、釜石市民ホールTETTOとJR新花巻駅にて出発式が開催され、関係者や選手たちの家族らが駆けつけました。

出発式で挨拶に立ったラグビー国際交流推進事業実行委員会の小泉嘉明会長からは「試合の勝ち負けも大切だが、それよりも世界に向かってこの岩手、釜石をアピールしてきてほしい。そして、ありがとうとお礼を伝えてほしい。中田義仁副会長からは、「震災からの復興の姿、岩手、釜石

の素晴らしいラグビーの姿を示してきてほしい。ワールドカップが行われているフランスの地で感じたこと、感動したことを持ち帰り、今後の岩手、釜石のラグビーの発展に役立ててほしい」と激励の言葉が寄せられました。

派遣団の団長を務める岩手県ラグビーフットボール協会 白根敬介会長は、「試合に勝つのも大事ですが、交流を深めることも大事。「ラグビー県いわて」、「ラグビーのまち釜石」を世界に向けて大いに発信していきたい」と意気込みを語りました。



出発式には野田武則前市長(左)の姿も



出発に向けて気合いの入る選手たち



取材を受ける福士周太主将



実行委員会 小泉嘉明会長



中田義仁副会長



白根敬介団長

## プールD予選

9月23日(土) 13:45~(日本時間20:45)

会場: Parc de sports (サン・マクシマン・ラ・サント・ポーム)



いわて釜石RFC 12 対 36 Rugby Lions

(イングランド代表)



試合会場となったエミーユ・オリヴィエ運動公園は、アマチュア大会直前の9月15日に落成したばかりで、この一戦はこけら落としとなった。

前半、3点を追う日本は敵陣5mライン付近でのラインアウトのチャンスに、用意したサインプレーを成功させる。速攻のモール攻撃にトライまで数10センチに迫るも、ラックでの反則を犯し得点ならず。逆に前半10分以降自陣深く攻め込まれる。反則のできない守備が続くも9番濱田と14番佐々木(絃)が相手のノックオンを誘う好守備を見せて切り抜ける。

後半、これまでも鋭いアタックを見せていた4番木村、19番山根らの素早い連続攻撃が起点となり、12分に7番関川がトライ!ラストワンプレーとなった敵陣22mでのペナルティからの再開。10番三田からのパスを受けた23番山根による力強いゲインで残り5mに。走り込んできた木村がタックルを受けながらも執念のトライ。会場からは「ジャポン」コールや奮闘に対する温かな拍手が送られた。



途中交代 19 山根 21 小原 22 後藤 23 山根 24 及川 25 成島 26 佐々木(冬)



試合直前、気合いが入る佐伯ヘッドコーチ(HC)と福士キャプテン



スピードも速くなかなか止められない



このグラウンドでの初めての公式試合となった



相手の強力なタックルにひるまない



スクラムのパワーはほぼ五角



執念のトライを決める木村選手



高さもあるイングランド



試合終了! 健闘をたたえる選手たち

## 地元の子もたちとの交流

会場には、釜石の小学生からサン・マクシマンに住む子どもたちに送られたメッセージが飾られていました。選手たちは、地元の子もたちへ感謝の気持ちを伝えました。



# プールD予選

9月24日(日) 10:00～(日本時間17:00) 会場: Parc de sports (サン・マクシマン・ラ・サント・ポーム)



いわて釜石RFC

5 対 54

COBS & COGS (チリ代表)



対戦クラブ「COBS & COGS」は、アマチュア大会出場権をかけた国内トーナメントを制覇。ラグビーW杯出場のチリ代表にも選手を輩出する国内屈指のクラブチームである。日本は、2番佐々木(大)、8番佐々木(冬)らが先発、また21番(フランカー)小島も交代投入直後、相手の反則を誘ったキャリアを見せるなどセットプレーに限らず豊富な運動量でチームを盛り上げる。一方でベテランもプレーでチームを鼓舞。15番篠原は蹴り上げたハイパントをチェイスし、レシーバーの膝下に突き刺さるタックルを、また5番後藤もハーフからのタイミングをずらしたパスを受けゲインを見せるなど攻守でチームに勢いを与えた。終始追いかける展開となったが、1番小原や13番成島も最後まで献身的なディフェンスを見せる。得点は後半2分、16番佐藤、7番関川、4番畠山らのキャリア、10番福士がパスとキックをフェイントにゲイン、そこに続いた6番木村が走り込んでトライし一矢を報いた。

2試合目の対戦相手は強豪チリ



和やかなムードのいわて釜石RFC



当たりも強い



ベテラン後藤選手の活躍が光る



ボールを繋ぐ小原選手



イングランド戦に続きトライを決める木村選手



ファンと交流!



試合終了! チリは強かった



感謝の気持ちをスタンドへ



試合中大声で声援を送ってくれたファンの皆さん



両チーム入り乱れて記念撮影



途中交代 16佐藤 17吉田 19佐伯 21小島 22佐々木(絃) 24千葉 25三田

# プールD予選

9月24日(日) 16:00～(日本時間23:00) 会場: Parc de sports (サン・マクシマン・ラ・サント・ポーム)



いわて釜石RFC

12 対 19

Roldan Rugby Club (アルゼンチン代表)



共にここまで勝ち星を得ていないチーム同士の対決。前半1分、キックオフからマイボールを継続し、ゴール正面15mほど手前の好位置でペナルティを獲得。1番吉田、2番中村、3番神田らフロントローの突進を意識させる配置にアルゼンチンは守りを固める。プレー再開と同時に9番池町と吉田が左に展開、正面に張った相手ディフェンスの意表をつき大外に構えていた11番滝沢がトライ。後半も早々にトライが生まれる。ハーフウェイ上で得たペナルティからの再開。5番佐伯から4番畠山、吉田の縦攻撃。ボックスが右へ展開。15番山根、8番佐々木(拓)、14番千葉によるオフロードパスを再び受けた山根がトライ。12番キャプテン福士のコンバージョン成功でリードを広げた。7点を追う展開に最後まで果敢に攻め続けるが、粘りのディフェンスに阻まれノーサイドの笛が鳴らされた。全力を尽くした一戦を終え、文化や言語の壁を越え双方がたたえ合う場面に会場から大きな拍手が送られた。



第3試合、絶対に負けられない!



国歌斉唱にも熱が入る



多くのファンで賑わう競技場



途中交代 18根子 19後藤 20佐々木(冬) 22小原 23成島 25下山 26濱田



序盤、いわて釜石RFCのペースで試合が進む



選手たちの連携も良好



試合終了! 感謝を伝える選手たち



みんな集まって写真を撮ろう!

**三田選手が最優秀選手に!**  
 第3試合の開催された9月24日、注目の選手として三田選手が表彰された。大会実行委員会から賞状とトロフィーが送られた。



ラグビーが日本とアルゼンチンの架け橋に!

# 9月20日 サン・マクシマン・ラ・サント・ボームでの歓迎レセプション



サン・マクシマン到着後、スタジアムで練習を終えた選手たちは、市内中心部にあるBasilique (バシリカ)の前庭で開催されたレセプションに出席しました。歓迎会には、村田優久夫在マルセイユ総領事やサン・マクシマン市長のアラン・デカニス氏らが出席、選手たちに歓迎の旨を伝えました。

村田優久夫在マルセイユ総領事やアラン・デカニス市長も



地元クラブチームのグッズも販売



地元紙から取材を受ける佐伯HC



大会実行委員長のジェレミー・テシエ氏もかまいCスタイル!



## 地元紙「ヴァール・マタン」にて、いわて釜石RFCの紹介記事が掲載

「ありがとうを言いたくて…」というタイトルのコラムでは、日本チームが震災復興にあって世界各国から受けた支援に対する感謝の思いを伝えるべく大会に参加したこと、3カ月という限られた期間でありながらもヘッドコーチの明確なチームのイメージと選手一人ひとりの献身がチーム結成を可能としたことが紹介されました。併せて在マルセイユ日本国総領事館の村田総領事がチームの激励に訪れたことが伝えられています。

# 9月25日 マルセイユの州庁舎での歓迎レセプション

憧れの優勝トロフィーを目の前に

グループリーグでの激戦を終えた選手たちは、マルセイユでプロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール州議会主催のレセプションに参加しました。レセプションには、大会に参加した16カ国・地域の選手および関係者500人が集結、いわて釜石RFCの選手たちも世界の選手たちと交流しました。挨拶に立ったジェレミー・テシエ実行委員長から、2回目となる大会は2027年にオーストラリアで開催することも伝えられました。



いわて釜石RFCの選手たちが登場すると会場からひととき大きな声援が



世界各国の選手たちと交流を深めた

## 順位決定戦

9月28日(木) 9:00~(日本時間16:00)

会場: Stade Rolland (ディーニュ・レ・バン)



いわて釜石RFC

5対5 ▶ 4対5

同点により、キックオンゴール勝敗決定

DEVEBI

(ジョージア代表)



サン・マクシマンでの3試合を終え、場所を釜石市と姉妹都市提携を結ぶディーニュ・レ・バンへ移し順位決定戦。対戦相手はジョージア。前半10分、右サイドでのビッグゲインからフォワードが左に縦をついてポイントを作る。右側の狭いサイドに走り込んだ11番下山が先制トライ! 後半、22番佐々木(絃)が右サイドを駆け上がるなどチャンスメイクをするも追加点を奪えず、逆にジョージアに同点とされノーサイド。試合は今大会初、そして唯一となるキックオンゴールに突入。両チームから代表3人によるキック合戦のために、前半40分を戦い切るもキッカーとして進み出た10番三田、下山、14番滝沢に勝利の望みを託した。22mライン上での3本を両チームが成功させ、決着は付かず。さらに距離を40mに伸ばしたチャレンジを3本共に成功させたジョージア代表が勝利を掴んだ。朝9時からの試合には姉妹都市交流のためにディーニュ市を訪問していた釜石市内の中学生派遣団や、前日に交流した市郊外ル・プリュスケ村の小学生たちが応援に駆けつけ、スタジアムには「カマイシ!」「ジャポン!」との声援が響いた。



途中交代 16根子 20後藤 21小原 22佐々木(絃) 23篠原 24及川 25佐々木(大)



山々に囲まれた美しい競技場



中学生派遣団も応援に



朝日が選手たちの顔を染める

試合を重ねることに強くなっていくいわて釜石RFC



ジョージアの猛攻をなんとか凌ぐ



キックオンゴールで勝敗決定!

さあ行くぞー!



突破を試みる池町選手



相手チームもなかなか手強い



ル・プリュスケの小学生も応援に!

観客席からは割れんばかりの声援が!



観客からは大きな声でカマイシ!ジャポン!と声援が送られた



キックオンゴール方式で決着をつける



試合終了後にベナントを渡すとジョージアワインをプレゼントしてくれた

# 順位決定戦

9月28日(木) 14:00~(日本時間21:00)

会場: Stade Rolland (ディーニュ・レ・バン)



いわて釜石RFC **5** 対 **7** RUGBY CLUB DE FRAMERIES  
(ベルギー代表)



先のジョージア戦でのキャプテンの負傷を受けて22番滝沢がゲームキャプテンを務める。ツアー全日を通して選手のケアにあたった三田トレーナーの献身により最終戦で選手登録の全員が試合出場を果たした。チーム最年少及川が9番で初先発。堅い守りで無失点に抑えた前半を終え、後半へ。先制点は後半10分のベルギー。コンバージョンも成功させ残り10分で7点ビハインドの展開に。18番竹中、20番小原らリザーブ全員を投入し、後半19分、チャンスが訪れる。攻守に身体を張り続ける12番伊藤のボールキャリア、さらにイングランド戦以来の先発となった14番大高が左大外のスペースに切れ味鋭いラン、16番根子のキャリアーなど連続攻撃でトライまで残り5mに迫る。駆け寄った21番スクラムハーフ濱田が、相手守備に生じた隙を目掛けて気迫のダイビングトライ!最後の瞬間まで走り続けたいわて釜石RFCのアマチュア大会はノーサイドとなった。



途中交代 ▶ 16 根子 18 竹中 19 佐伯 20 小原  
 21 濱田 22 滝沢 26 下山



最終試合キックオフ!



選手登録の全員が試合出場



今度こそ絶対勝つ!と意気込む選手たち



ボールは渡さない!



相手陣に切り込んでいく大高選手



伊藤選手の気迫あふれる走り



根子選手の粘り強いタックル



世界の壁は厚かった



濱田選手の  
決死の  
トライ!!

# 9月27日 ル・ブリュスケでの公開練習

日本語で歓迎のメッセージ!



ディーニュ・レ・バンに移動した9月27日、山間の村ル・ブリュスケを訪れ地元の子もたちと交流しました。最初は恥ずかしがっていた子どもたちでしたが、ラグビーボールをパスされると選手に向かって思い切り投げ、キャッチボールが始まり、どんどん打ち解けて行きました。選手たちに抱えてもらい宙に浮かす「リフト」を体験したり、選手の構えるヒットバッグにタックルをしたり。ラグビーボールが選手と地域の子もたちをつなぎ、終始笑顔の絶えない時間となりました。



中学生海外体験学習事業の派遣団も合流



選手によるリフト体験は大人気



ヒットバッグに思い切りタックル!



伊藤選手(左)と佐々木(拓)選手(右)が小学校で教えていたという佐々木浩央さん(中央)、フランスで奇跡の再会を果たす

# 9月27日 大会オフィシャルセレモニー&夕食会



セレモニー会場にいわて釜石大漁旗を掲げていただきました

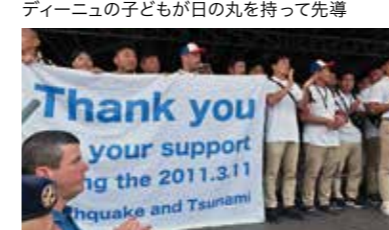
ディーニュ・レ・バンの中心部にあるジェネラル・ド・ゴール広場で、大会オフィシャルセレモニーが開催され、大会参加の16カ国・地域のチームが一堂に会しました。いわて釜石RFCのメンバーは壇上に上がると、Thank youのフラッグを掲げ、震災復興支援への感謝を発信しました。セレモニーの後の懇親会では、釜石の銘酒「浜千鳥」のいわて釜石RFCオリジナルラベルの純米酒とペナントを各国選手の代表に手渡しし交流を深めました。



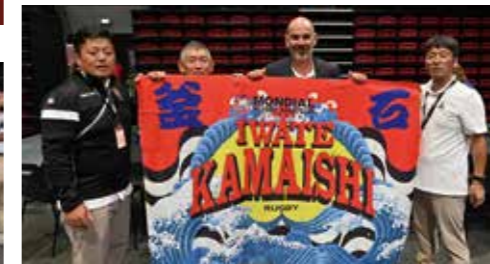
各国代表に浜千鳥とペナントを贈呈



ディーニュの子もが日の丸を持って先導



感謝のメッセージを発信



大会実行委員会にも大漁旗を贈呈

# 優勝は南アフリカ!

準決勝はトンガ代表対チリ代表、オーストラリア代表対南アフリカ代表で勝ち進んだチリと南アフリカでの対戦。南アフリカ代表のHamilton Sea Point RFCが勝利、初代チャンピオンとなりました。




超満員となったスタジアム




優勝した南アフリカ代表チーム。おめでとう!

Message from  
**いわてRFC  
釜石**




**白根 敬介**  
岩手県ラグビーフットボール協会会長  
開催地の姉妹都市ディーン・ニュー・パン市を始め、参加各国のチームとの国際交流を通じ、参加の目的を十分に果たしたと思います。今後は、この遠征の成果を生かし、「ラグビー県いわて」「ラグビーのまち釜石」の発展に寄与できることを願っております。




**佐々木 利光**  
釜石市文化スポーツ部スポーツ推進課課長  
「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」の一員として参加させていただき、目的の一つであった、復興支援への感謝の思いを世界の方々に伝えることができ嬉しく思います。素晴らしいチームの、選手、スタッフの皆様へ感謝申し上げます。




**後藤 博之**  
PR1、LO、FL、No.8  
紫波オックス  
試合前の国歌斉唱、観客からのKAMAISHIコール、各国代表との試合、どれをとっても私のラグビー人生の中で一番の経験でした。諦めず、努力し続ければこのような経験ができるということを、息子に伝えたいと感じました。最高のメンバー・スタッフと共にした時間は私の宝物です。




**佐々木 絃**  
WTB、CTB  
(元)釜石SW  
フランス楽しかった！試合に勝てなかったのは悔しく、いろいろ思うところもありました。それ以上に初海外で異国の文化に触れ、自国の文化を再確認できたことは素晴らしい経験でした。




**佐々木 大雅**  
No.8、HO、FL  
岩手大学ラグビー部  
大会に参加させていただき一番に感じたことは、海外の選手と自分とのフィジカルの差です。自分がプレーしている大学のレベルよりも遥かに上で、改めてその重要性を痛感しました。貴重な時間を過ごすことができ、感謝しています！




**佐々木 義友**  
釜石市文化スポーツ部国際交流課課長  
有意義で心に残るフランス派遣でした。この派遣で得られた体験と思いを自分自身に活かしつつ、周りの社会にも還元し、「ラグビー県いわて」そして「ラグビーのまち釜石」の今後のまちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。




**斎藤 次彦**  
チームドクター  
医師  
フランス派遣にチームドクターとして参加させていただき、有難く存じます。コーチ、キャプテン、選手個人が自己管理が充分であり、大きな怪我もなく、チームドクターとしての仕事はほとんどない状態で、選手の皆さんに感謝です。




**三田 副起子**  
きたかみ鍼灸整骨院  
チームトレーナー  
いわて釜石RFCの誇りとプライドを持って激戦を戦い抜いた選手達の姿に魂が揺さぶられました！いわて釜石RFCは最高のチームです！




**佐々木 拓磨**  
FL  
(元)釜石SW  
ラグビーの試合後、どの国の選手もフレンドリーで「ハイ、マイブラザー！」と積極的に関わってくれました。「豊かさ」は、物質的なものではなく、自分や家族の時間を大切にすること、人との関わりの中にこそあるものと学ぶことができました。




**佐々木 冬威**  
FL、No.8  
岩手プレイズラガー  
今大会に参加できた事を光栄に思います。素晴らしいチームメイトに出会えた事を嬉しく思います。今事業の一環である「復興感謝」をスタジアム内外で表すことができ、素晴らしい遠征となりました。




**佐藤 大遥**  
HO、PR3  
岩手プレイズラガー  
色々な国と試合ができて貴重な体験になりました。また、小さい子供からサインを求められ、温かい気持ちになりました。震災復興の感謝も各国に伝えられたと思います。この経験をこれからのラグビー人生に活かしていきます。




**佐伯 悠**  
釜石市文化スポーツ部スポーツ推進課  
ヘッドコーチ  
試合に勝つ事ができなくて非常に悔しい思いをしましたが、それ以上に現地の方々や対戦相手、各国代表チームの皆様にお会いし交流できたことが何よりも大きな経験となりました。今回のメンバーが再結集できることを心から願っております。




**篠原 洋介**  
WTB、FB  
(元)釜石SW  
バックスクーター  
コーチ、スタメン、リザーブとして、いつでも出場出来る心と体を準備して試合に挑みました。自分が出場したチリ戦では、会場を沸かせるようなプレーが出来た事が良かったです。また、グラウンドで国歌を歌った瞬間が一番の思い出です。



**竹中 伸明**  
HO  
釜石市ラグビー普及コーディネーター  
フィールドアシスタント  
「まちおこし」での盛り上がりを受けたい大歓迎に心から感動しました。釜石から「ありがとう」を伝えるための派遣でしたが、たくさん「メルシー」という言葉をいただきました。交流の絆をさらに深めていきたいです。



**下山 輝**  
WTB、FB  
(元)釜石SW  
ローズコアゲームが多く一歩及ばず、経験の差を感じました。言葉は分からずとも、試合後は戦った国同士がお互いを称え合い、お酒で乾杯するのがラグビーのとてもいい文化。他国の人と交流し、文化を知り、愛を感じる事ができました。




**関川 哲**  
No.8、FL  
岩手プレイズラガー  
ラグビーの楽しさや難しさ、勝利する厳しさを改めて感じました。また、釜石シーウェイブスのOBの方々と一緒にラグビーができた一生の財産になりました。今後もラグビーを続けるので、今回学んだことを活かして頑張っていきたいです。




**滝沢 祐樹**  
FB  
(元)釜石SW  
我々はcombined teamでしたが、試合を追うごとに結束が高まり、各国と接戦を演じることができました。試合は本気で戦い、試合後は国・人種・言葉を越えて友達になる。これはラグビーの根源であり最大の価値だと感じました。



**福土 周太**  
SO、CTB  
(元)釜石SW  
キャプテン  
笑いあり、涙あり、感動ありのラグビーアマチュア世界大会でした。参加できたこと、キャプテンを務めたこと、全てが一生の宝です。ありがとうございました。




**池町 信哉**  
SH  
(元)ヤマハ発動機ジュビロ  
なによりも素晴らしいと思ったのは、キックオフ前、君が代を歌う瞬間です。日本人であることを誇りに思える瞬間でした。試合は悔しい結果になりましたが、今大会が釜石のラグビー選手に国際感覚と経験を植え付ける機会になったと思います。




**伊藤 優駿**  
CTB  
(元)釜石SW  
「ラグビーっていいなあ」。何度も頭の中に浮かんできた言葉です。かつてのチームメイトや新たなメンバーと一緒にプレーし、様々な国の人達と笑顔で握手を交わし語り合う。街に住む人達の温かさに包まれながら過ごした2週間でした。




**千葉 大和**  
SH、WTB  
(元)釜石SW  
最高のメンバー、スタッフに恵まれ夢のような時間を過ごすことができました。温かく迎えて下さった方々のおもてなしに感動し、試合前の国歌斉唱では感極まって涙が出ました。結果は目標に届きませんでしたが、貴重な経験になりました。



**中村 彰**  
HO、FL  
(元)釜石SW  
今回縁があり釜石を背負い世界と戦うことができ嬉しく思います。フランスにて世界の国々の方と交流することで、お互いの文化を学び、試合することで釜石はラグビーのまちだと伝えられたのではないかと思います。



**成島 悠治**  
CTB、WTB  
岩手プレイズラガー  
ラグビーを通じた現地の方々との交流や国際試合をした経験は、自慢であり誇りです。一生に一度無いであろう機会を頂いた事、今でも心を震わせる瞬間に立ち会えた事は本当に幸せでした。ありがとうございました。




**及川 勝陽**  
SH、WTB  
釜石SWジュニアサポート指導員  
全てが一生忘れることがない貴重な経験となりました。特に滞在した街の雰囲気や歓迎ムード、試合中の応援が印象に残っています。多くの人達に応援してもらえながら試合をするのは初めての経験だったのでとても嬉しかったです。




**大高 将徳**  
CTB、WTB  
フェーザントプレイブス  
自分のレベルがまだまだ低いことを実感しました。シーウェイブス出身の方と一緒にプレーした経験、外国人と試合をした経験を今後のラグビー生活に活かしていきたいです。より高いレベルのプレーができるように日々練習していきたいです。




**小原 尚人**  
PR1  
岩手プレイズラガー  
怪我による欠員で急遽招集という形で参加させて頂きました。本来参加するはずだった方々から精一杯のサポートをいただき、結果には繋がっていませんでしたが、今回の大会で得られた経験を所属チームに持ち帰り、今後のラグビー人生に活かしていきたいです。




**根子 叶多**  
HO、No.8  
岩手プレイズラガー  
フランスではたくさんの国の方と交流できとてもいい大会だったと思います。滅多にこのような機会がないのでフランスで学んできたこと、経験したことを今後ラグビーで活かしていこうと思います。




**畠山 克己**  
FL、LO  
(元)釜石SW  
今大会に参加して、海外の文化、ラグビー、人々と触れ合ったことは全てが新鮮で、物凄く貴重な経験になりました。今回の経験を糧に、仕事やラグビーに活かして自身の成長に向けて努力を重ねていきたいです。



**濱田 英旦**  
SH  
(元)釜石SW  
日本そして釜石のことを知っている方がとても多いと感じました。海外の方からリスペクトをいただき感激、自分がその素晴らしい釜石に居させてもらっていると思いました。釜石の素晴らしいラグビーを世界に伝えていきたいです。



**神田 佑樹**  
PR3、HO、PR1  
(元)釜石SW  
ラグビー人生最後に、アマチュア日本代表として最高の仲間と戦えたことフランス各地での大歓迎、各国の選手との交流、夢のような時間でした。多くの人の支えでラグビーできたことに感謝しております。ラグビーっていいな。




**木村 優太**  
FL、No.8  
(元)釜石SW  
仲間と世界一を目指し、プレー出来たことを嬉しく、誇りに思います。ジャパソールや子供達からサインを求められたり、異文化に触れ合うことが出来ました。今回の経験を活かし、ラグビー選手としても人としても成長していきたいです。



**小島 洸太**  
No.8、LO、FL  
フェーザントプレイブス  
初めての海外、外国人選手との交流等、さまざまな体験をさせていただきました。東日本大地震の被災者一人として、元気な姿を海外の方々に届けられたと思います。私自身はスキル不足も痛感し、良い刺激にもなりました。



**三田 唯力**  
SO、FB  
フェーザントプレイブス  
ラグビーというスポーツの視野を広げる事が出来ました。個々で通用できた場面や自身の弱点等を肌で感じる事ができ、貴重な経験となりました。所属する岩手県警ラグビー部に還元し、岩手県のラグビーを盛り上げていくことに努めていきたいです。



**山根 達大**  
SO、FB、WTB  
岩手プレイズラガー  
他国の方々との交流も重要ですが、私達はラグーマンであり、代表として戦う以上、結果を残すことができなくて非常に残念でした。ただ、通用する部分もあり、チームとしての成熟度を高めればもっと良い結果も得られたと思います。



**吉田 竜二**  
HO、PR1  
(元)釜石SW  
今年5月、引退した時にこの話をもらい、参加して良かったと思いました。言葉も通じない外国人選手と試合をして、終わればノーサイドの精神で仲良くなり、友達になれる！釜石でラグビーをして良かったと思ったフランス遠征でした。

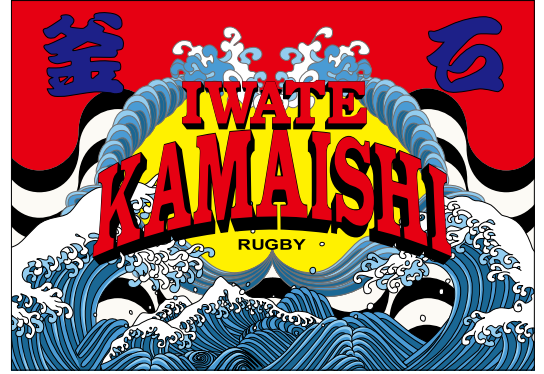


# いわて釜石ラグビーフットボールクラブの ユニフォーム&チームフラッグのデザイン

RWC2019岩手・釜石開催時にKAMAISHI大漁旗Tシャツをデザインしたファッションデザイナー岩谷俊和氏が新たにデザインしたものです。胸には「IWATE KAMAISHI」と、左右の肩には大きく「釜」「石」の文字が書かれています。大会中でもいわて釜石RFCのユニフォームは、交流した市民や各国の選手などから交換を希望する声も多く、大会の注目の的となりました。



ユニフォーム



チームフラッグ

## ●「ラグビー国際交流推進事業」支援企業



有限会社 毎日元気



Xcoal & Resources



株式会社 岩手銀行

## クラウドファンディングプロジェクト「おらほの」へのご支援 誠にありがとうございました！



ラグビー部マーラー 様	障害者支援施設 緑生園 様
三笠 広介 様	田中 久賀 様
ホテルマルエ 様	本田 祐嗣 様
Maki様	三上 潔 様
後藤 達夫 様	Yoshiaki UMEZAWA 様
佐野 公美子 様	飯野 達也 様
田辺 俊介 様	高橋 将展 様

かぶちゃん 様	清水 匡 様
中田 昌孝 様	半兵衛 様
Miki 様	長谷川 創 様
木村 健弘 様	三浦 康幸 様
釜石市国際交流協会 様	村井 則夫 様
頑張れ釜石 高槻応援部隊 様	紫波オックスRFC 様
市川 哲也 様	江上 聡 様
浜登 寿雄 様	及川 勝加 様
Raymond Wong 様	会田 裕之 様
清野 信雄 様	

【お名前掲載にあたって】クラウドファンディングにご支援をいただいた方々のうち、ご氏名の掲載にお許しをいただいた方だけの掲載となります。また、複数口のご支援をいただいた方につきましても、掲載は1回とさせていただきます。

「いわて・釜石」感謝と友好のラグビー大漁旗を姉妹都市に寄贈したい！ プロジェクトチーム

ラグビー国際交流推進事業実行委員会（事務局：釜石市文化スポーツ部国際交流課）

SNS発信

ラグビー国際交流推進事業実行委員会では、FacebookとInstagramを開設し、そちらでも情報発信をしてきました。

